# 

# を鳴らそう!

★ムックリ鳴らし方マニュアル★



#### 北海道立アイヌ民族文化研究センター

この冊子は、当センターが参加する「2012サイエンスパーク」において配布するために、作成しました。



## ♪ ムックリとは♪





ムックリは、"口琴"と呼ばれる楽器のひとつです。 アイヌの楽器の中では、わりあいに多くの地域に伝わっています。 「ムックリ」のほか、「ムックル」「ムフクン」などの呼び名もあります。

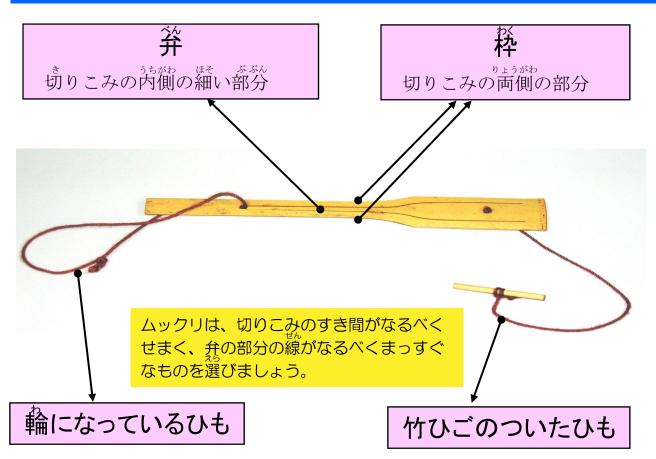
### ゴ琴とは



"弁"という細長い部分を振動させ、その音を口の中に響かせ、響かせ方をいろいろ変えたり組み合わせたりして、自分なりの音色の変化を楽しむ楽器です。

# ◎◎♪ ムックリのつくり ♪◎◎

が伝わっています。



## ♪ ムックリの持ち方♪



## (右ききの人のばあい)





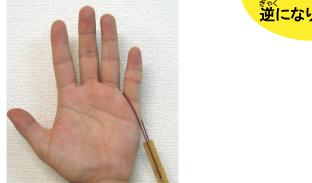
#### 左手



※ 左ききの人は この図と左右が 逆になります。



右手



<u>小指</u>に、輪になっているひもをかけます。 ■



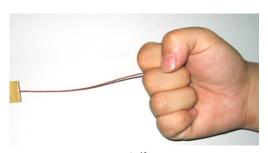
人さし指と中指のあいだにひもを 通して、竹ひごが<u>手のひら側</u>に来る ように、はさみます。



小指にひもをかけたまま、すべ すべした面に親指をあて、ひもを 動きがかか 両面から押さえこむようにして、 握ります。

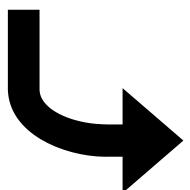
**姪**りよう。 ムックリがぐらぐらしないよう に、親指でしっかり押さえます。



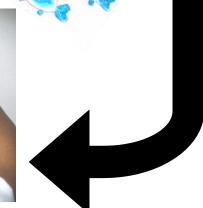


手を、かるく握ります。

※ このとき、弁まで押さえこまないように気をつけて! ※ 握ってみて、輪になっているひもが緩ければ、小さく 結びなおしましょう。







## ♪ れんしゅう(1) ♪ **発を振動させる**





## 「ブーン♪」という、低くてうなるような音を出してみる!

## まずはじめに、手もとで音を鳴らす練習をします。



すべすべした節を自分の方に向けます。 たね 胸の少し下あたりで構えます。

ムックリを持つ方の手が、ぐらぐらし ないように、つねに気をつけましょう。





竹ひごをにぎった手で、ひもをいきおい よく引いて、弁を振動させます。

引く方向は、真横から少し前です。



すばやくノックするようなイメージで。 引いた後は、手首が少し跳ねて戻るよう な感じになるように、やわらかく。

いそがず、あわてず、ゆっくりね

うまく鳴ったときの弁は、上から見ると、 かなり前後に振れています。



上からみたときの弁の振れかた

#### この音を出すまでが、

ちょっとむずかしいかも。 何度もやっているうちに、 必ずコツがつかめてきます。

あきらめないで!



## !? 鳴らない !? ここをチェック !!





#### ? ひもを引いたとき、ムックリがぐらぐらしませんか?

受える方の手がぐらつくと、うまく弁を振動させられません。 最初はわきをしめて、親指に力を入れて、しっかり支えましょう。 また、輪になっているひもが長すぎたり短すぎたりしないよう、 あらかじめ調節しておきましょう。

## ・ 対までいっしょに押さえこんでいませんか?

弁が動かないと、音も鳴りません。

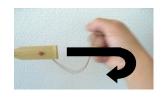




## ? ひもを引くとき、力みすぎて手首が硬くなっていませんか?

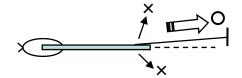
手首が硬いままだと、引ききったところで動きが 止まってしまいます。すると、弁の振動も止まって しまいます。

ノックをするときのように、手首の動きを<u>ほんの</u> 少しだけ逆に戻すよう、意識してみましょう。



## ? ひもを引くとき、前や後ろにズレすぎていませんか?

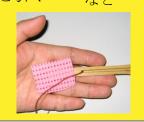
真横からほんの少し前に向かって、 ひもを引きましょう。





#### 小さな手のための 練習のくふう

- ムックリを持つ部分に、すべり止めのゴムを巻く
- 竹ひごを、割りばしの割れ目にはさみ、割りばしごと握ってから、ひもを引く など





自分なりのくふうをして、 鳴らすコツをつかんで いきましょう。

# ♪ れんしゅう② ♪ 口の中に普を共鳴させる





#### めざせ!「ビヨョョ ~ン♪」「ホワワヮヮ ~ン♪」

## つぎは、音を口の中に響かせる練習をします。





練習のため、最初は口を開けたままにしておきます。





輪になったひもをかけた手の、親指の爪を、 唇の端につけます。その手ぜんたいを、頬に 押しつけるようにして、固定します。 そのまま、3ページで練習した「ブーン♪」

## ロの中に音が響く感じがつかめたかな?



慣れてきたら、枠に軽く触れるていどに、 ををそっと閉じてみましょう。

という音を出してみましょう。

- ※ 歯で噛むのではありません!
- ※振動した弁に、唇や舌がぶつからないよう、気をつけて!

#### 口を閉じるとき、響きが変わるのがわかるかな?



さらに慣れてきたら、音色に変化をつける くふうをしてみましょう。たとえば…

- ・口を、開けたり閉めたりする
- ・舌を、上下、前後に動かす
- ・鳴らしながら、息を吸ったり吐いたりする
- ・ひもを引く力を、強くしたり弱くしたりする
- 好きなリズムでひもを引く



いろいろな音色に変わると とってもたのしいよ!

## 練習の後は、ムックリをよく乾かしましょう。

湿っていると、いい音が出ません。 また、使っているうちに、弁が下がって くると、鳴りにくくなります。

写真のように、竹ひごを、ムックリのすべすべした面の側から、弁と枠のあいだに軽くはさみ、風とおしのよいところにかけておきましょう。



# ♪ 聴こう ムックリ♪ ♪ 学ぼう じっくり♪



● 次のウェブサイトで、ムックリの音を実際に聴くことができます。

#### 財団法人アイヌ民族博物館

http://www.ainu-museum.or.jp/mukkuri/mukkuri.html

財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

http://www.frpac.or.jp/ins/mukuri1.html

サッポロピッカコタン

http://www. welcome.city.sapporo.jp/pirka/mukkur/index.html

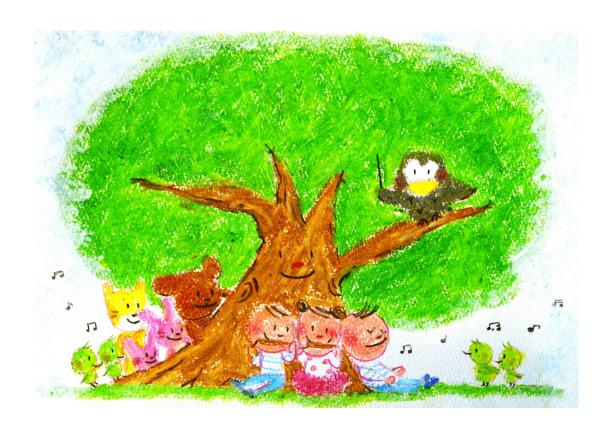
● 研究センターの『ポン カンピソシ 7 芸能』は、アイヌの伝統的な歌や踊りや楽器について解説した小冊子です。センターのウェブサイトからPDFで読むことができます。

#### http://ainu-center.pref.hokkaido.jp

なお、冊子を希望する人にはお送りしています。

まずは電話(011-272-8801)でご連絡ください。





ムックリのことはもちろん、アイヌ文化のことで、何かわからないことや、さらに知りたいことがあったら、問い合わせてください。

#### 北海道立アイヌ民族文化研究センター

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目 緑苑ビル1階

(011) 272 - 8801

開館:月~金 9:00~17:00

休館:土・日・祝、年末年始

下記のウェブサイトの「レファレンス」のページから、電子メールでも問い合わせることができます。

http://ainu-center.pref.hokkaido.jp